

再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）					
地区名	一般県道 <small>のりさだとよた</small> 則定豊田線					
事業箇所	豊田市 <small>やなみちよう</small> 矢並町					
事業のあらまし	2011年3月より東海環状自動車道鞍ヶ池スマート IC が大型車両の通行も可能となったことから、当該路線においては、豊田市中心市街地への重要な経路として大型車の通行も増加している。当該区間は縦断勾配が急であり、歩道が設置されていないことから、地元から歩行者の安全確保を求められており、歩道の設置を行うものである。					
事業目標	【達成（主要）目標】 歩道設置を行い、安全な歩行者空間の確保を図る。 【副次目標】 （必要に応じて記載する）					
計画変更の推移		事前評価時 (2014年度)	再評価時 (2019年度)	再々評価時 (2024年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2014 ～2018年度	2014 ～2024年度	2014 ～2029年度	地元調整の難航による事業期間の延伸	
	事業費（億円）	4.0億円	2.5億円	2.5億円	—	
	経費内訳	工事費	3.0億円	1.5億円	1.5億円	—
		用補費	0.5億円	0.5億円	0.5億円	—
		その他	0.5億円	0.5億円	0.5億円	—
事業内容	歩道設置 延長 L=1500m	歩道設置 延長 L=400m	歩道設置 延長 L=400m			
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 歩行者の安全な通行空間が確保されていないため、歩行者等が危険な状態である。 【再評価時の状況】 歩行者が危険な状態は変わらない 鞍ヶ池スマート IC の大型車対応と 24 時間化に伴い、自動車交通量は増えている。 【変動要因の分析】 周辺状況等における変動要因はほとんどない。				
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。			

②事業の進捗状況及び見込み	【理由】 歩行者の安全な通行の確保の必要性は変わらない。																																																																																																																		
	1) 進捗状況																																																																																																																		
	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="11">←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="2">←</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事 歩道設置工事</td> <td></td> <td colspan="2">←</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>計画</td> <td>0.1</td> <td colspan="4">3.9</td> <td colspan="4">2.4</td> <td colspan="4">2.3</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.1</td> <td colspan="4">0.0</td> <td colspan="4">0.1</td> <td colspan="4"></td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>0.1</td> <td colspan="4">0.0</td> <td colspan="4">0.1</td> <td colspan="4">2.3</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、過去については5ヵ年毎の計画と実績、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p>		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計	工種区分	調査・設計	←														/	用地補償												←				工事 歩道設置工事															←		事業費 (億円)	計画	0.1	3.9				2.4				2.3				2.5	実績	0.1	0.0				0.1								0.2	今回計画	0.1	0.0				0.1				2.3				2.5
		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計																																																																																																	
	工種区分	調査・設計	←														/																																																																																																		
用地補償													←																																																																																																						
工事 歩道設置工事																←																																																																																																			
事業費 (億円)	計画	0.1	3.9				2.4				2.3				2.5																																																																																																				
	実績	0.1	0.0				0.1								0.2																																																																																																				
	今回計画	0.1	0.0				0.1				2.3				2.5																																																																																																				
【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.4</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>0.4</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>2.4</td> <td>0.1</td> <td>4%</td> <td>2.5</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.5</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>1.5</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>0.5</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>25%</td> <td>0.5</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table>		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.4	0	0%	0.4	0%	事業費(億円)	2.4	0.1	4%	2.5	8%	工事費	1.5	0	0%	1.5	0%	用補費	0.5	0	0%	0.5	0%	その他	0.4	0.1	25%	0.5	40%																																																																										
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																														
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																														
延長(km)	0.4	0	0%	0.4	0%																																																																																																														
事業費(億円)	2.4	0.1	4%	2.5	8%																																																																																																														
工事費	1.5	0	0%	1.5	0%																																																																																																														
用補費	0.5	0	0%	0.5	0%																																																																																																														
その他	0.4	0.1	25%	0.5	40%																																																																																																														
【施工済みの内容】 設計、部分的な用地調査及び物件調査																																																																																																																			
2) 未着手又は長期化の理由	用地交渉にあたり、現地調査の地元調整に時間を要しているため、事業が長期化している。																																																																																																																		
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 用地交渉が難航し、時間を要している。 【今後の見込み】 事業費ベースで8%の進捗率であり、用地買収に着手できていないが、事業区間を見直すことにより、地元と調整を進めており、予算が確保できれば2029年度には完了できる見込みである。																																																																																																																		
判定	B A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																																																																																		
	【理由】 地元調整に時間を要しているが、地元自治区から要望書が提出されるなど、整備要望の声は強く、事業区間を見直すことにより2029年度には完了できる見込みである。																																																																																																																		
III 対応方針																																																																																																																			

継続

中止：上記①及び②の評価で一つでもC判定があるもの。
継続：上記以外のもの。

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） □対象外
【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】
事業実施前後の歩行者等の安全性の変化